

## 「NICUでの治療」



NICUに入院しているのはどんな赤ちゃんでしょうか？早産で体重も小さく、たくさんの管につながれた小さな小さな赤ちゃん。多くの方々はこのようなイメージをお持ちですか？NICUには小さく生まれた赤ちゃんのほかにも、病気をもらった赤ちゃんたちもいます。生まれつき病気をもっていたり、お産そのものが赤ちゃんへのストレスとなり、誕生後の環境に順応するスイッチがうまく入らない、いわゆる仮死で生まれてきた赤ちゃんもいます。

NICUでは、入院してきた赤ちゃんを集中的に管理し、治療しています。早産の赤ちゃんは、早産ではないけれども病気をもち、赤ちゃんとしては、治療方法は異なります。早産で生まれた小さい赤ちゃんは、本来安全であったおなかの中の環境を再現してあげることが治療の要点です。おなかの中ではまだ自分で呼吸をしていますが、生まれてきた以上は呼吸をしなればいけません。呼吸をする力が弱い場合は、人工呼吸器をつけた

りします。おなかの中と全く同じとはいきませんが、保育器の中の温度や湿度を子宮の中に近く保ちます。自分の力で哺乳できない場合には、チューブで栄養を与えることもあります。身体にいろいろな機械がつながれますが、機械で生かされるのではなく、機械の力を借りておなかの中の環境を再現するのです。早産ではないけれども、仮死で生まれたり、外の環境に適応しにくいケースもあります。内臓の機能はできてきていますが、子宮に近い環境をつくることで変化の橋渡しをしてあげます。おなかの中では健康な赤ちゃんも、おなかの外に居ること自体が重大事。さらに病気の赤ちゃんが早産で生まれてくることもあるのです。治療はその赤ちゃんに合わせて行なわれます。赤ちゃんに必要な治療を見極めてサポートしていくことが、NICUの治療です。

函館中央病院  
小児科  
中島 美佳  
医長

### 【略歴】

平成5年、北海道大学医学部卒業後、北海道大学病院医学部付属病院、埼玉県立小児医療センター、東京都立大塚病院、国保松戸市立病院、東京都立北療育医療センター勤務を経て、平成26年より函館中央病院小児科に勤務。同年、小児科医長に就任。日本小児科学会専門医、日本人類遺伝・日本遺伝カウンセリング学会臨床遺伝専門医、日本小児感染症学会ICD



### 函館中央病院

函館市本町33-2 ☎0138-52-1231(代) <http://www.chubyou.com/>

診療科目／内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、  
心臓血管外科、皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科など全22科目  
受付時間／8:30～11:30・13:30～16:00※土曜は午前のみ。診療科や時間帯によっては要予約。  
休診日／日曜・祝日・年末年始・開院記念日(6月第1水曜)